

## 楽園？それとも地獄？

経済学部経済学科 石原光奈

(奈良県立 法隆寺国際高等学校出身)

高校時代、大阪産業大学・経済学部のHPで上級キャリアコースの存在を知り、興味を持ちました。その後、オープンキャンパスに参加し、コース担当教員・大谷剛教授から説明を受けた際、教育に関して強烈な熱意を持っておられると感じました。簡単にいうと、教育が好きでたまらないという印象を受けました。

もちろん、単に熱意があるだけではなく実績もあります。このことは、コースHPをみれば明らかですが、学業面でいうとERE(経済学版TOEICのようなもの)での大学対抗戦全国第1位であったり、就職面でいうと毎年多くの学生が一流企業への就職を果たしていることなどが挙げられます。このように、上級キャリアコースでは、「ワンランク上の就職・進路」という目標を掲げているだけではなく、**実際に成果を出し続けているという大きな特徴があります**。目標はあっても成果が出ていないのでは、ちょっとがっかりですよ。

では、なぜ成果を出し続けているのでしょうか。他にも色々と説明されているので、重複しないことを挙げるとすると、先生の教え方がうまいという基本的なポイントを指摘できると思います。実際、大学で実施されている学生に対する授業アンケートでは、同アンケートが開始された2017年以来、ほぼすべての年に「学生から高い評価を得た」として表彰されています。一方、私自身が先生の講義を受けた経験からいうと、先生の厳しさが学生の成長・成果に大きな役割を果たしていると思います。これまでにみたことがないくらい良い先生ですが、**これまでにみたことがないくらい厳しい先生**でもあります。

コース自体の在り方についても触れておくと、コース定員は50名の少人数制となっています。コースのメンバーとは、共に過ごす時間が自然と多くなるため、友達作りがしやすいです。それと、放課後や夏休みなどの長期休暇中に大谷先生が実施して下さる、無料課外講義にも参加すると**先輩も含めたメンバーや先生との一体感**がさらにアップします。ほとんど、部活のノリになってきます(笑)。もちろん、私も参加していましたが楽しかったですよ。だからという訳ではないのですが、この課外講義には、例年ほぼすべてのコースメンバーが参加しています。

最後に、みなさんに聞いておきたいことがあります。みなさんは、大学を自分の将来を賭けた戦いの場だと思っていますか？それが言い過ぎだとしても、努力の場だと思っていますか？もし、そうだとすれば、上級キャリアコースはあなたにとって青春を謳歌できる場となることでしょう。他方、そうでなければ、上級キャリアコースはあなたには向いていません。上級キャリアコースとは、**将来のために懸命に努力し続ける者にとっては楽園ですが、そうでない者にとっては地獄**なのですから。